

## 後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれるまち  
 基本施策 : 07 健康づくりを支える新たな活動の推進  
 施 策 : 01 みんなですすめる健康なまちの創造

**施策担当職・氏名** 健康づくり政策課長 和川 早苗

1. 施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

超少子高齢社会となった今、市民が安心安全で暮らせるためには心身ともに健康で生きがいを感じられる環境が必要であり、それが幸福な社会を醸成する礎となります。健康づくりは、こうした社会を作り上げていくための誰もがができる取組であり、より多くの市民の参加が求められるところです。

滝沢市健康づくり宣言は、そのような市民一人一人の健康づくりへの取組を推進するために、地域や団体・企業などと支えあい、一丸となって、笑顔と元気あふれる、幸福を実感できるまちづくりを目指すこととして宣言されました。

取組に際しては、市民を支援するための環境を提供するとともに、主体的に健康づくりに取り組む団体数の拡大を図り、多様なつながりの中で健康づくりを推進するための企画や人材の育成、エビデンス（証拠・検証結果）に基づく効果的な手法の研究等、更なる環境・体制づくりの推進を図ります。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市健康づくり宣言に参加している団体等の数 単 位 団体	133	136	139	142	145	145	B
			139	140	140	139	139	50.0
	単 位							
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	単 位	目標値 実績						
	単 位	目標値 実績						
	単 位	目標値 実績						
	単 位	目標値 実績						
	単 位	目標値 実績						

## 後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策：07 健康づくりを支える新たな活動の推進

施 策：01 みんなですすめる健康なまちの創造

施策担当職・氏名 健康づくり政策課長 和川 早苗

## 2. 施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>「健幸まちづくり（＝スマートウエルネスシティ）」の考え方を取り入れ、特に、ウォーキングによる健康への効果を示す研究成果を踏まえた健幸ウォーキング事業を令和2年度から開始しました。</li> <li>後期基本計画期間を通して健幸ウォーキング事業を継続したことで参加者は増え続けています。令和4年度からは新たな動機付けのためのインセンティブ付与を開始したところ、前年度と比較し参加者の平均歩数が増加したほか、BMIの平均値が低下するなど一定の成果が見られました。</li> <li>まちづくりの観点での取組には相当の期間を要するため、地域づくり、都市整備、観光等の関係部門と協議しながら今後の展開の方向性を検討していきます。</li> </ul>	

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健幸ウォーキング事業の拡大</li> <li>ロコミによる健康情報の広がりを目指す健幸アンバサダーの養成</li> </ul> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健幸ウォーキング事業の募集人数を拡大したほか、ウォーキングと組み合わせる運動教室を実施しました。</li> <li>令和3年度に実施できなかった健幸アンバサダー養成講座を再開しました。</li> </ul>	

## 3. 施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

## (1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、これまで休止や縮小していた教室、講座等が再開されたことで、健康づくりに関する取組のニーズが増えてくることが予想されます。</p>	

## (2) 基本施策との関連性から施策の見直し

B	必要あり
<p>基本施策における環境変化に対応するため、ハード面とソフト面の両面での「健幸まちづくり」の取組を継続することについて、慎重な検討と見直しが必要です。</p>	

## 4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>健康づくりは市民生活の基本ですが、約3割は健康無関心層とされています。健康無関心層の行動変容を促すとともに、全世代において自律的な健康づくりの活動を行えるような環境づくりを進めていきます。</p> <p>【引継課題】</p> <p>個人の行動変容を促すためのポピュレーションアプローチの推進</p>	

